



竜門峡と勝沼ぶどうの里ウォーク

2025.09.28 12km 短縮 10km

コース

往路(バス)	富士宮駅南口 == 甲府南IC == 釈迦堂PA(WC) == 勝沼IC == 栖雲寺(WC・体操)
	7:00 8:25~40 9:00~9:20
ウォーク	栖雲寺(スタート)・・・日川溪谷(竜門峡)・・・竜門峡入口(WC) == バス移動 ==
	9:20 10:50~11:00
	勝沼ぶどうの丘(昼食・WC)・・・勝沼ぶどう郷駅・・・大日影トンネル遊歩道出口(WC)
	11:20~12:20 12:50 13:30~45
	・・・勝沼氏館跡・・・祝橋(ゴール)
	15:00~10 15:20
復路(バス)	祝橋 == あすなる園(WC) == 一宮・御坂IC == 甲府南IC == 富士宮駅南口
	15:20 15:25~16:00 17:30

コースの概要

栖雲寺(せいうんじ)でトイレと体操を済ませてウォークスタート。県道218(大菩薩初鹿野(はじかの)線)を約400m下って竜門峡遊歩道入口(近道)から溪谷に降りて行きます。竜門峡は苔むした岩や落ち葉の積み重なった狭い道が続くので足元に注意してください。ストックを持っている方は使いましょう。竜門峡入り口第一駐車場にはトイレがありますが数が少ないので我慢できる方は昼食場所まで(バスで20分)我慢してください。第二駐車場からバスに乗り、勝沼ぶどうの丘に移動して昼食です。昼食後は勝沼ぶどう郷駅経由で大日影トンネル遊歩道に進みます。駅周辺には旧駅のホームなどが残っています。夏でも涼しいトンネルは約1.4kmと結構長いです。他グループの邪魔にならないよう右側通行で進みましょう。トンネルを出たところにもトイレがあります。その後はぶどう畑の中を進み、勝沼大橋を渡って勝沼氏館跡まで歩きます。館跡を出て祝橋を渡った先がゴールです。5分ほどバスに乗った先のあすなる園でトイレ休憩ですが、ぶどうのサービスがありますので秋の味覚をお楽しみください。ここでぶどうやお土産の購入も可能です。

短縮コース:大日影トンネル遊歩道を出た後、県道217を左折して約1.3km進んだところにあるバス転回待機場所からバスで勝沼氏館跡に進みます。

栖雲寺

臨済宗建長寺派の寺院で山号を天目山という。南北朝時代の貞和4年(1348年)業海本浄を開山として創建された。開基は甲斐国主の武田信満公で、往時は中部地方における幻住派の拠点として、また戦国の大雄武田家の菩提寺として大いに繁栄した。勝頼公の敗北後は、織田家の兵火で殿堂を焼失したが、徳川家康が寺領を寄付した為に旧観を取り戻した。県指定史跡の石庭は当時多くの修行僧が坐禅を組んだ禅庭として伝わり、秋には見事な紅葉が見られる。蕎麦は初め、実を粉にして食べるそばがき、そば餅として食べられており、今の様な細く切って茹でた蕎麦(蕎麦切り)はなかった。蕎麦切り発祥の地は、ここ天目山栖雲寺である。栖雲寺のある木賊(とくさ)地区は現在でもそうだが米は採れない。当時も米麦は少なかった為に、うどんに学んで蕎麦切りを作って参拝の方々に食べさせていたのだろう。境内には蕎麦切り発祥の地の碑がある。

参加者の皆様へ

- ・ 無断で単独行動をとらないようにしてください。
- ・ 主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- ・ スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- ・ 原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- ・ 一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- ・ 体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。

次回申込(朝・集合場所で) 旧木曾路&リンゴ&羽広観音ウォーク

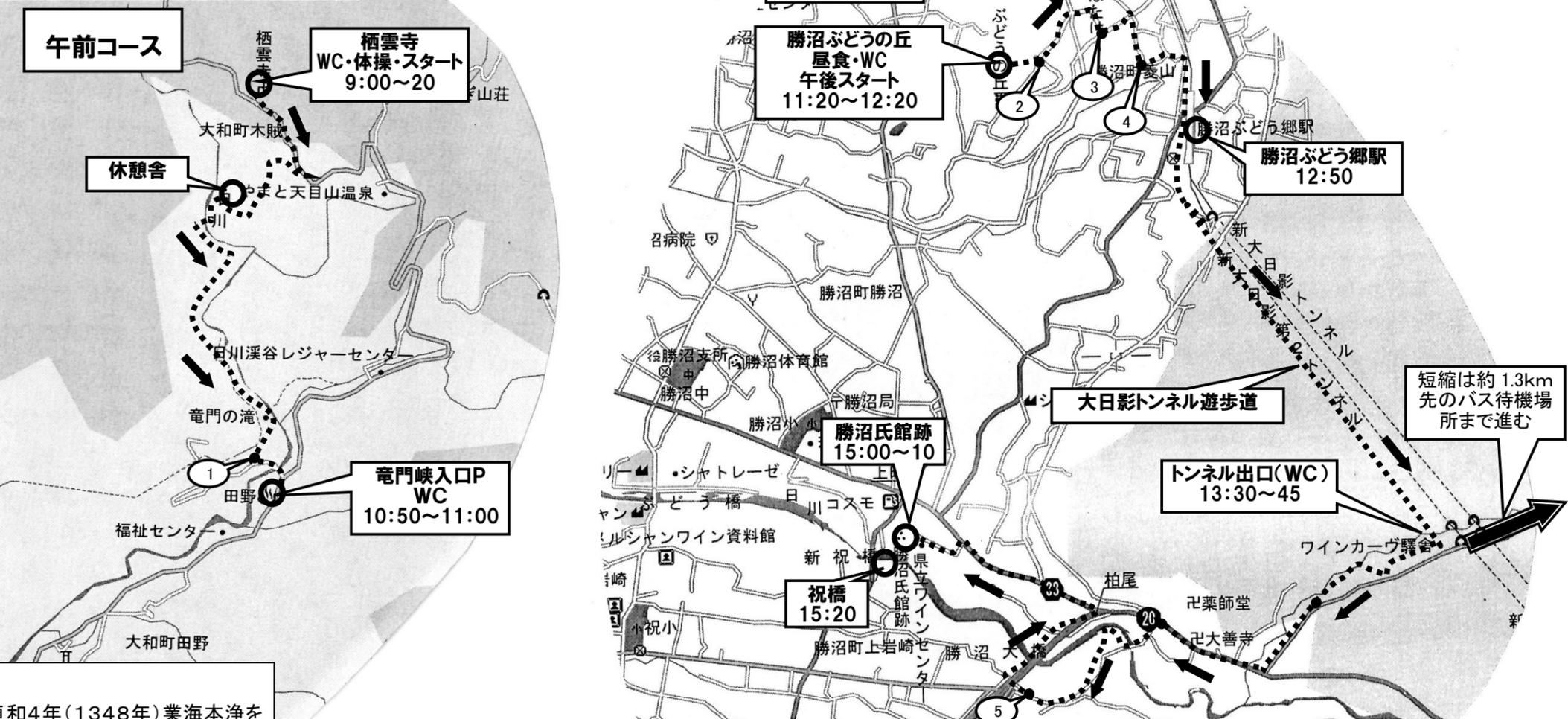
☆期日 10月26日(日)
 ☆集合 富士宮駅南口 6:00
 ☆参加費 7,000円
 ☆×切 10月20日(月)

緊急時連絡

松井 隆子 090-9910-2192
 増田 敏幸 080-2612-4825

竜門峡

日川の甲州市大和町田野地区から天目地区にかけてを竜門峡と呼んでいる。日川溪谷に沿って整備されているこの道なら、さまざまな溪谷美を満喫できる。溪谷入口から遊歩道が整備されており、ちょっとしたトレッキングにはもってこいのコース。溪谷には巨岩が横たわり、落ち三つの滝などがあり、深山幽谷の雰囲気味わえる。樹木には名札がつけられているので自然観察に最適。



大日影トンネル遊歩道

明治36年から平成9年まで中央本線下り線として使用されていたトンネルを遊歩道として整備。トンネル内には鉄道標識・待機所・水路が当時のまま残されている。壁面や天井には昭和6年に電化されるまで走っていた蒸気機関車の煙突から排煙された煤が黒く付着している。

勝沼氏館跡

武田信玄の父、信虎の弟、勝沼信友と子信元二代の武将として活躍した武田親族衆。館跡は戦国時代の武田武将の暮らしが明らかに国指定史跡として保存され史跡公園として公開されている。